

議決権行使レポート

証券コード 4977

会社名 新田ゼラチン

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役7名選任の件			
尾形 浩一 氏	○		
杉本 芳久 氏	○		
竹宮 秀典 氏	○		
林 和也 氏	○		
佐久間 陽一郎 氏	○		
堀 要子 氏	○		
鈴木 博正 氏	○		
第3号議案 監査役2名選任の件			
井上 和也 氏	○		
佐藤 邦樹 氏	○		
第4号議案 補欠監査役1名選任の件			
松本 直也 氏	○		

上記の推奨をした理由

・第1号議案 剰余金の処分の件

当期の配当性向は18.6%で、ISSが通常賛成を推奨する15%から100%の範囲を下回る寸前ではあるものの、この範囲に収まっている。また、前期の配当性向は34.9%であり、配当性向の低さは現時点では継続的なものではない。すなわち、ISSが反対を推奨する「十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い場合」にも当てはまらない。これらのことから、第1号議案に賛成する。

・第2号議案 取締役7名選任の件

ISSが反対を推奨する条件のいずれにも当てはまっていないため、第2号議案に賛成する。具体的には、以下の通りである。

- ・過去5期（2020年3月期は赤字を計上）平均の自己資本利益率〔ROE〕は5.71%であり、ISSの基準である5%を上回る
- ・政策保有株式の保有額は純資産の15.1%であり、同基準の20%を下回る
- ・株主総会後の取締役会に占める社外取締役の割合は7人中3人であり、いずれの候補

者も ISS の独立性基準を満たす。よって、ISS の基準である 3 分の 1 であることと 2 名以上であることを共に満たす

- ・新田ゼラチンは親会社や支配株主を持たない
- ・前会計年度における社外取締役の取締役会の出席率は、佐久間陽一郎氏が 94.1%、堀要子氏が 100%、鈴木博正氏が 92.8%であり、全員が同基準の 75%を上回る

7 名の候補者のうち唯一新任の取締役候補者である林和也氏は、1992 年 4 月に入社して以来幅広い業務を経験し、2020 年からは執行役員として長期事業計画の策定を主導するなど、経営の重要事項の決定に大きく関与している。このことから、取締役となるにふさわしい経験・知識を備えていると考えられるため、賛成する。

・第 3 号議案 監査役 2 名選任の件

ISS が反対を推奨する条件のいずれにも当てはまっていないため、第 3 号議案に賛成する。具体的には、以下の通りである。

- ・社外監査役候補者である佐藤邦樹氏は ISS の独立性基準を満たす
- ・社外監査役候補者である佐藤邦樹氏は、前会計年度における取締役会の出席率が 100%、また、監査役会の出席率が 100%であり、ISS の基準である 75%をいずれも上回る
- ・株主の利益に反する行為に責任があるとは判断されない
- ・候補者の 2 名とも、他社で取締役や監査役は務めていない

・第 4 号議案 補欠監査役 1 名選任の件

ISS が反対を推奨する条件のいずれにも当てはまっていないため、第 4 号議案に賛成する。具体的には、以下の通りである。

- ・松本直也氏は補欠の社外監査役候補者であり、ISS の独立性基準を満たす
- ・同氏は新任であるため、前会計年度には取締役会や監査役会には出席していない
- ・株主の利益に反する行為に責任があるとは判断されない
- ・同氏は他社で取締役や監査役は務めていない

松本直也氏は、1985 年に学校法人松山商科大学（現学校法人松山大学）に勤務を始め、現在は同大学の常務理事である。直接会社の経営に関与された経験はないが、長年にわたる学校経営の中で得た知識や経験を備えている。したがって、経営の妥当性・公平性を確保するための役割を果たし、社外監査役としての職務を適切に実行できると考えられるため、賛成する。